

園庭にビオトープを創るプロジェクトASOBIO



活動の場所

全国の幼稚園・保育所・認定こども園



活動目的

子どもたちが園庭での遊びを通じて自然の不思議さ・面白さ・美しさに出会う空間「ASOBIO」を作る活動です。持続可能な社会が注目されるなか、幼児期には自然を保護すべきものとして遠ざけるのではなく、身近なものとして直接触れ合い、楽しむ体験が重要です。私たちはASOBIO（あそび×ビオトープ）と名付け、啓発、普及活動を行っています。

活動内容

全国の幼稚園・保育所・認定こども園にビオトープ（ASOBIO）を啓発、普及する活動をしています。

●セミナーや研修の実施

啓発活動のために、オンライン形式のセミナーや研修を行っています。

専門家（（公財）日本生態系協会様、玉川大学 教授 大豆生田啓友 先生等）やビオトープを園庭に施工された園の先生方を招聘し、2023年度はのべ約1,000園の先生方に参加いただきました。



●園庭の公開保育（視察会）を実施

ビオトープを園庭に計画、施工された園で公開保育（視察会）を実施しています。

2023年度は4回（宮崎県、埼玉県、東京都、静岡県）実施し、約200園の先生方に参加いただきました。



●ビオトープの計画、施工を実施

ASOBIOを園庭に作るプロジェクトをプロデュースしています。

先生向けの研修、デザイン、設計、施工を行っています。



PRしたいポイント

国内の幼稚園・保育所・認定こども園の園庭は、グラウンド（平面）に人工的な遊具や鉄棒等の運動器具を設置しているケースが多く、自然と触れる機会が著しく減少しています。30by30を実現するためには、子どもたちへの環境教育の見直しや充実が必要です。私たちは幼児教育の保育環境に着目し、活動を行っています。

活動効果、今後の展開 等

○ASOBIOを園庭に作ることにより、こども主体の遊びが広がった、自然や生き物への興味関心が深まったとの声を沢山頂きました。

○今後はASOBIOを計画、施工した園に対して、自然共生サイトへの登録を提案、支援をします。